

高浜小学校・三村小学校・関川小学校・南小学校統合再編に係る説明会 要旨

日時 令和2年8月20日(木) 午後7時から午後7時50分

場所 東地区公民館 大会議室

執行部 児島教育長, 豊崎部長, 吉澤次長, 倉本参事, 小沼教育総務課長, 小河原副参事,
海東係長, 佐藤主事

出席者 6名

次第

1. 開会
2. 教育長あいさつ
3. 職員紹介
4. 統合再編計画に係る説明

資料

- 「高浜小学校・三村小学校・関川小学校・
南小学校統合校基本計画(案)」
- 「高浜小学校・三村小学校・関川小学校・
南小学校統合検討委員会スケジュールの例」

5. 質疑応答
6. その他
7. 閉会

次第に沿って、4. 統合再編計画に係る説明まで行う

(参加者)

三村から下稲吉小学校と言ったところに通学区をまたいでの就学は可能なのか？

(事務局)

現時点では、行政区をまたいで学区を定めると言うことは出来ない。

(参加者)

バスの回転場を作ると、子供たちが自然と触れ合う場所が減ってしまう。何か代替りの案もあるのか？

(事務局)

あくまでも案と言うことで、皆様からもご意見があれば、どんどん聞きながら設計に取り入れていきたいと思っております。

(参加者)

12 ページの体育館の改修ですが、その期間の体育館の使用はどうなるのか。

(事務局)

その期間は体育館自体は使用出来ないことにはなっています。後は、学校の先生たちのカリキュラムの組み方によってくるかとは思いますが、市の施設としましては、比較的近い所に南小の場合は体育館がございまして、そこを使えるかどうかも含めての相談と言う形になってくるかと思えます。

(参加者)

長寿命化による改修工事と言う形で、10 ページのところに普通教室の事例が出ているが、将来的なことも考えて、改築するのであれば、より良い条件になるようにすることが、良いのかなど。今、統廃合だけの問題で考えられていると思うんですけども、これから ICT 化教育になった時に、電子黒板は特別教室にも普通教室にも入るのか？石岡市としての教育予算の中で、どう言う風な形で組み入れられていくのか？統廃合だけ見ていけば、統廃合だけだし。ICT 化の教育だけ見ていけば、縦割りになってくると思うので、縦と横の関係性が上手く行かないといけない。将来 ICT 化のことも考えると、ゆくゆくはこのぐらいまで必要かもしれないと言う将来像まで見えてくると、これから専門委員会・部会で詰めて行く中で可視化していただいている中では良いのかなど。例えば、9 ページの可視化してある改修工事

の前と後だとやっぱり大分綺麗になるんだなと言う雰囲気にはなるんですが、内装的にはどうなのかなと言った時には、やはり10ページ以降の部分については、中身がただ綺麗になるだけかなと言うような印象。新しい機材等とICTの問題と併せて検討いただければ嬉しく思います。

(事務局)

市で進めているICT化との連携も図りながらになっていきますので、ご意見をいただいたものを、どんどん設計に反映させて行きたい。それから、長寿命化工事の一番の目的は、老朽化を直すことだけではなく、機能向上と言う部分も加わってきますので、新しい部材であったりとか、将来の環境により適したものを、設計の中に組み入れながら行っていくのが、長寿命化改修工事と言うことになっていきます。検討委員会の中でも、どんどんご意見いただきながら、設計業務に入る段階で、こう言ったことを踏まえてどれくらいの金額になるかと言うのを弾いてもらうのはこれからになりますので、今はご意見いただきながら、どこまで出来るかなと言うものを作って行きたい段階でございます。

(副参事)

ICT化と言うことなんですけども、国のGIGAスクール構想と言うことで、児童生徒1人1台の端末整備を今進めているところでありまして、来年の4月からは1人1台の端末で、コロナウイルス感染症で登校出来なくなった場合でも、家庭と学校を結び付けてオンラインの学習が出来るような形の整備を、進めているところでございます。

電子黒板につきましても、今年度の9月の補正と言うことで、各学校に一台ずつ。これは財政との協議になるんですけども、導入を図って行ければと考えております。

(参加者)

学校が新しく生まれ変わると言うことで、とてもわくわくした話だなと思っています。

今、歩いて登校しているお子さんたちについては、バスの費用は掛かっていないと思うんですが、新しくバスを利用される事になると、バスの費用等の負担が出てくると思う。どちらかと言うと、行政の主導で今回統廃合が進んで行く話だと思うので、不利益変更にあたる可能性があるなど。費用負担についても、小美玉市等では、市が負担していると言う話も伺っている。そのような事の検討状況も教えていただきたい。

2点目が、改修工事中の授業について。先ほど体育館の話が出たが、児童の教室についても、使えない場面が出てくるかと思う。休業中等に工事を進めるような形でやっていただけたら。ただ、今回のようにまたコロナとかがあると、休業期間が短くなったりと言うのが考えられるので、どのように子供たちの学びの場を保障していくのか。現時点で何か検討中の内容があれば教えていただきたい。

3つ目です。統合委員会の話が出たが、新しい学校を作ると言うことで、地域の方も積極

的に参加していきたい方がかなりいるんじゃないかなと思う。6ページに①②③と言うことで、保護者の代表、学校の代表、学区の区長と言うような形で考えていると思うが、例えば参加したいと言った場合、参加することが可能なのか？その人選をどのようにやっていくのか、どのようにお考えなのか教えていただきたい。

最後に、統廃合と言うことで今までの事例を集めていただいて、課題と取り組んできたことと言うことで、何か守りに入っているような情報を集めている。公立の小学校でも、例えば、熊本県ではICT化が凄く進んでいたり、広島ではイエナプランを取り入れた公立の学校が出来たりと、かなり先進的な取り組みが公立の小学校でもあると思う。今回新しく学校が出来ると言うことで、石岡市にも地域の方が自慢に思ったり、県に向けて情報を発信していたり、全国に先駆けるような取り組みが出来ると期待しているので、そう言った情報も入ってくると、地域の方も前向きに取り組めるかなと思う。ぜひご検討いただきたい。

(事務局)

バスの費用につきましては、現時点ではご負担と言う部分については変わっていない。バス代と言う部分で、統合だけに絞っていくのか、全体的な子育て支援の一環として対策を講じていくのかと言う部分については、これからの協議になってしまう部分がありますが、きちんと協議をして行きたいところでございます。

改修につきまして、長寿命化改修工事は躯体をそのまま使うんですが、その他の部材については、具体的な工法についてはこれからですが、スケルトン工法になった場合教室が使えなくなってしまうので、その場合は仮設校舎。こう言ったものも基本的な計画の中に盛り込まれていくような形になろうかと思えます。

そして、地域の方々と言う部分については、統合検討委員会の規模としては、現時点で考えているところは、各学校3名から4名程度のPTAの方々。それから各学校長。それから地区は区長さん。そして、教育長の認めた者として、石岡市全体の区長会の会長さん。出来れば、これからお願いに上がるころではあるんですが、石岡中学校の会長さんであったりとか。そう言ったところには参加していただきたいと考えております。そして、今度は専門部会で。こちらにつきましては、またその中でも協議を図って行くんですが、専門部会の中でも地域連携を図っていく部会があります。そちらの中であったりとか。それから通学部会。こちらについては地区の方々でなければ分からない部分ももちろん出てきますので、そう言ったところへも入っていただきながら、色々なご意見を賜りたいと思っております。

4番目の石岡らしい、石岡の先進的な取り組みについては、我々だけではなかなか知恵が出し切れない部分ももちろんございます。皆さんと一緒に作っていきたいと言う風に考えているところがございますので、色々なご意見をいただきながら、進めていきたいと思いません。

(参加者)

色々な意見と言うところで、今回、出席者があまり多くない。まず、出席者を増やした方が良いかなと言うのはあるが、そう言ったところの策は何か考えられた方が良いかなと。何か寂しいなと言う気がしています。

(事務局)

基本的にはこう言った会ももちろん、学校さんを通じながら、色々なご意見を賜える機会を設けて行ければと思っております。

(参加者)

計画期間で、令和6年度の開校を目指すと言うことだったが、県内で他にも統合されてる学校は、計画から統合までどれぐらいの期間を要しているのかと言うのが分かれば教えてください。

(事務局)

小美玉市では、一番最初に計画の説明に入ってから、実際に統合検討委員会を立ち上げて統合に至るまでは、中3年から4年掛けているところもあります。学校を新しく建てたりしているケースももちろんありますので、建設をしている間に進めていく。今回我々の方で、改修の計画をしながら進めていくのと同じような感じになっていくのかなと思います。

それから、かすみがうら市では、中2年で行っているケースもあります。改修を伴わないで行っている統合と、そうでないところでももちろん差は出てくるころではあるんですが、土浦市で、西小と菅谷小の事例については、間を1年半ぐらいで進めているところもあります。暫定的な統合と言うことになってはいるんですけども、やっているところもあります。

それから、かすみがうらの義務教育学校。こちらについては、これから検討委員会を立ち上げるところではありますが、令和4年度の開校を目指して、今動いている形になっています。今は、学校の施設整備を進めていると言うところでございます。なので、検討委員会自体で、2年程度のところもあれば、3年程度のところもあって、色々と期間は分かれて来ます。市内でも今までの検討の例を見ていく中では、中3年程度あった方が、十分な議論が出来るかなと考えております。